

第2節 都市空間づくりの考え方

1. めざす都市空間の姿

- ・今後においても、本市の恵まれた資源を有効に活用し、生活の利便性を向上させることで、質の高い魅力あふれる「暮らし」を創造する都市空間の実現を目指します。
- ・暮らしの質を高める為、地域資源を有効に活用し、健康で文化的な都市環境を創造するとともに、安全・安心の確保を図り、地域雇用を創出します。
- ・これらを踏まえ、人口減少の局面を前提として、人口規模・構造や都市活動に見合った都市の姿として「ネットワーク型コンパクトシティ（集約・連携型都市）」の形成を目指します。

2. 河内長野市版コンパクトシティ ～集約・連携型都市空間の形成～

- ・本市におけるコンパクトシティは、本市の都市機能や、観光機能の中心的な役割を担う「拠点」づくりと、小学校区を基本とした「エリア」づくりにより、それぞれが有機的に連携・補完を図りながら、魅力ある都市空間を形成します。

■拠点

「都市拠点」＝「河内長野駅周辺」

全ての都市機能を集約し、都市の競争力を牽引する拠点

「地域拠点」＝「千代田駅周辺」「三日市町駅周辺」

「都市拠点」の機能を補完しながら、周辺地域の生活利便性を担う拠点

「観光拠点」＝「高向地区（奥河内くろまろの郷）」

本市の特色である、自然・歴史・文化の魅力を生み出し、発信できる拠点

■エリア＝「小学校区を基本としたエリア」

多様な特色を持つ生活エリア

- ・それぞれの「拠点」が持つ役割や機能を明確化するとともに、特色を生かした拠点づくりを推進します。
- ・小学校区を基本とした「エリア」において、それぞれが持つ特色を最大限に生かしたエリア形成を図ります。
- ・「エリア」はそれぞれの拠点と連携するとともに、他のエリア間においても連携を図りながら、機能や役割を補完し合うことで、持続可能なまちづくりを創造します。
- ・他市との広域的な連携を強化することにより、さらなる拠点・エリアの魅力向上を図ります。
- ・それぞれの拠点やエリアと連携を強化するため、公共交通ネットワーク及び道路ネットワークの充実を図ります。

3. 都市空間づくりに必要な要素

「河内長野市版コンパクトシティ」を目指すなかで、「エリア」づくりにおいて、特に下記事項を考慮し、暮らしの質を高めます。

①地域資源の活用

- ・豊かな自然環境や歴史的、文化的資源の保全・活用を図りながら地域特性を生かしたまちづくりを推進します。

②安全・安心の確保

- ・災害に強いまちづくりを目指しながら、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

③新たな雇用の創出

- ・暮らしやすさを高める為、地域特性を生かした、農業、林業、商工業を含む幅広い産業の活性化を図り、暮らしの場に近い雇用の場を創出します。